| リモート制御・監視システム ***BA3*** シリーズ | | |
|---|---|---|
| 取扱説明書 | BA コントローラ | 形 式<br>BA3－CE10 |

# ご使用いただく前に

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

・本器は一般産業用です。安全機器、事故防止システム、生命維持、環境保全など、より高い安全性が要求される用途、また車両制御や燃焼制御機器など、より高い信頼性が要求される用途には、必ずしも万全の機能を持つものではありません。
・安全のため接続は電気工事、電機配線などの専門の技術を有する人が行って下さい。

**■梱包内容を確認して下さい**

・BA コントローラ .....1 台

**■形式を確認して下さい**

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

**■取扱説明書の記載内容について**

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

# ご注意事項

**●取扱いについて**

・本体の取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、電源を遮断して下さい。
・非常停止回路・インタロック回路など特に安全性が要求される回路は本器の外部で構成して下さい。
・運転中のプログラム変更、強制出力、起動、停止などの操作は十分安全を確認してから行って下さい。操作ミスにより、機器の誤動作、破損や事故の恐れがあります。
・本器に触れる前には、設置された金属などに触れておき、人体などに帯電している静電気を放電させて下さい。過大な静電気は、誤動作、故障の原因になります。
・電源を投入したままでのシステム変更(I／O カードの着脱など)は行わないで下さい。通電中のシステム変更は、誤動作、故障の原因になります。

**●設置について**

・屋内でご使用下さい。
・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
・周囲温度が 0 ～ 55℃を超えるような場所、周囲湿度が 30 ～ 90 % RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。

**●配線について**

・配線は、ノイズ発生源(リレー駆動線、高周波ラインなど)の近くに設置しないで下さい。
・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

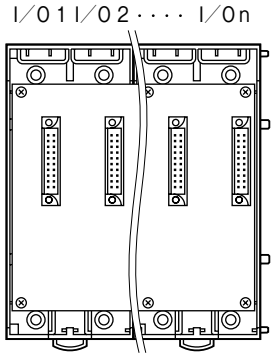
**●その他**

・本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 10 分の通電が必要です。

# 取付方法

ベース（形式：R3－BS)、アドレス可変形ベース（形式：R3－BSW）をお使い下さい。

**■ベースへの取付**



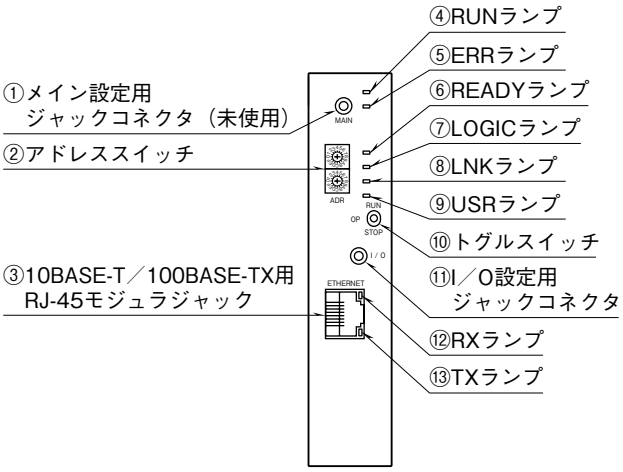

R3－BS 使用時は、入出力カードはＩ／Ｏ１から順に実装して下さい。
本カード、電源カードは、全てのスロットに実装可能ですが、基本的には入出力カードの右側、またはベースの右側に実装して下さい。

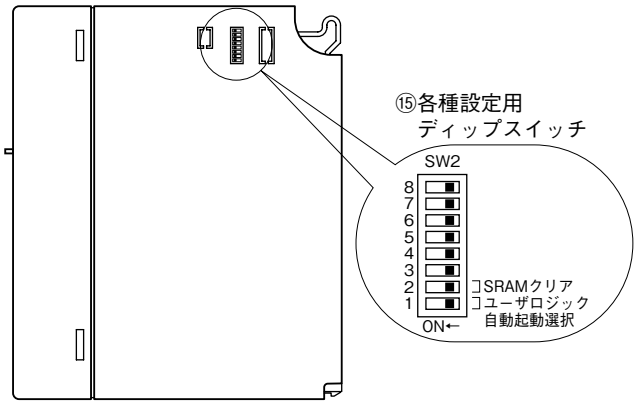
R3－BSW には、ロータリスイッチによりスロット番号が任意に設定することができます。これにより、実装するスロットを自由に変更することができます。

# 保　証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または運送中の事故、出荷後 3 年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。

# 各部の名称




■状態表示ランプ

| ランプ名 | 状　態 | ランプ表示色 | 表示内容 |
|---|---|---|---|
| RUN | 点灯 | 緑 | CPU、内部通信バスとの通信が正常動作 |
| | 消灯 | | 上記以外の異常状態 |
| ERR | 点灯 | 赤 | 異常検出時<br>(RUN ランプと逆表示) |
| | 点滅 | | 異常状態<br>(メモリエラーなどのシステムエラー状態) |
| | 消灯 | | 正常状態 |
| READY | 点灯 | 赤 | 稼働中<br>(6 秒点灯 1 秒消灯の繰返し) |
| | 消灯 | | 停止 |
| LOGIC | 点灯 | 赤 | ユーザロジック RUN |
| | 消灯 | | ユーザロジック STOP |
| LNK | 点灯 | 赤 | Modbus 接続クライアントあり |
| | 消灯 | | Modbus 接続クライアントなし |
| USR | － | 赤 | ユーザロジックにより制御 |
| RX | 点灯 | 黄 | データ送信 |
| | 消灯 | | 未通信 |
| TX | 点灯 | 緑 | データ受信 |
| | 消灯 | | 未通信 |

■アドレススイッチの設定

IP アドレスの最下位値を 16 進数のロータリスイッチで設定します。

| スイッチの位置 | アドレス |
|---|---|
| 00 | FMEM に記憶されたアドレスを使用 |
| 01～FE | FMEM に記憶された IP アドレスの最下位値をスイッチの値としたアドレスを使用 |
| FF | DHCP プロトコルによりアドレスを構成 |

■トグルスイッチの設定

| スイッチの位置 | 内容 |
|---|---|
| RUN | SW2-1 が OFF の場合に、電源投入時にユーザロジックを自動起動する |
| OP | 電源投入時にユーザロジックを自動起動しない |
| STOP | ユーザロジックの実行停止 |

■側面ディップスイッチの設定

●ユーザロジック自動起動選択設定(SW2-1)

| SW | ユーザロジック自動起動選択 | |
|---|---|---|
| | 自動起動する | 自動起動しない |
| SW2-1 | OFF（＊） | ON |

● SRAM クリア設定(SW2-2)

| SW | SRAM クリア | |
|---|---|---|
| | クリアしない | クリア後に停止 |
| SW2-2 | OFF（＊） | ON |

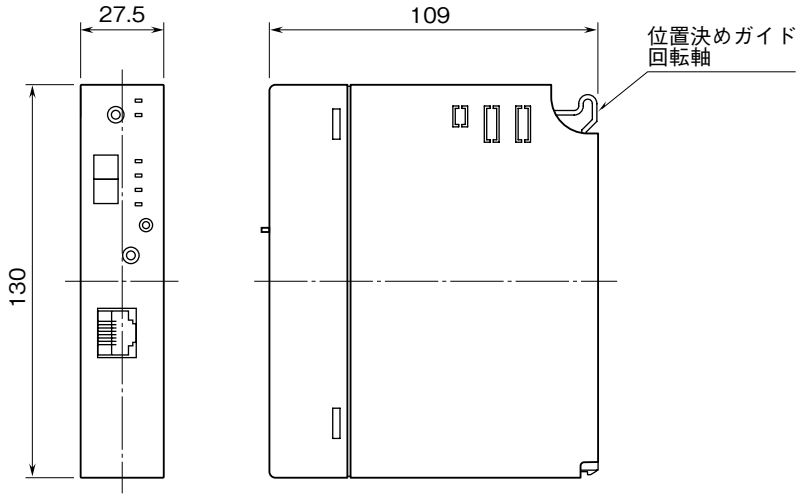
(＊)は工場出荷時の設定

注)SW2-3、4、5、6、7、8 は予約済みのため、必ず“OFF”にして下さい。

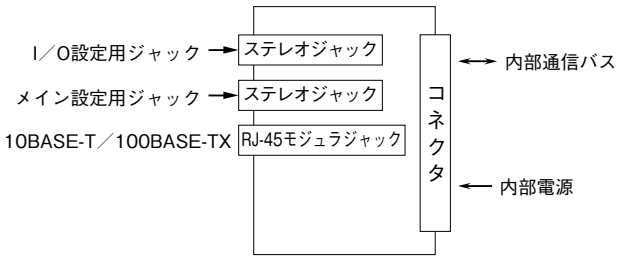
# 接　続

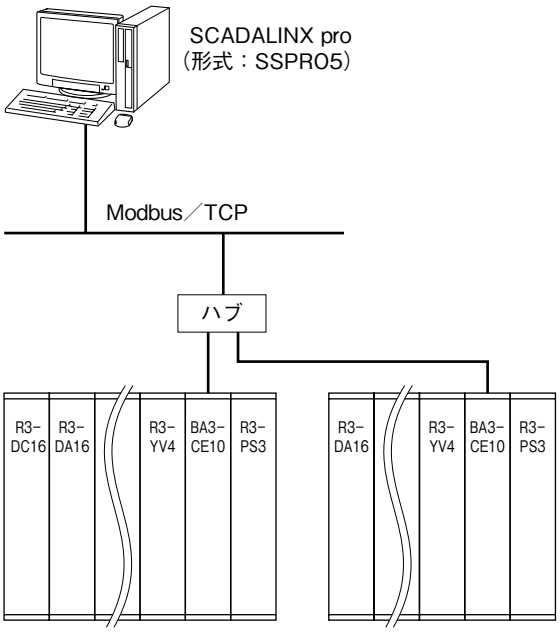
各端子の接続は下図を参考にして行って下さい。

## 外形寸法図（単位：mm）




## 端子接続図




# システム構成例